

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 (本荘キャンパス)
3. 専門分野 先進ロボットシステム、電気エネルギー応用、先進エレクトロニクスの各研究分野のいずれかに関連する研究経歴と実績を有し、ロボットシステム、ソフトメカニクス、インテリジェントシステム、人工生体機能、自然エネルギー応用、制御システム、通信システム、電子材料・物性、電子デバイス・回路、ソフトマター・デバイス、テラヘルツ応用等や関連する分野を含む広範な学問領域から構成される知能メカトロニクス分野の未来を先取りするような新しい研究・教育に意欲を持って取り組める方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 実験・実習、セミナー、卒業論文指導補助など
(大学院) 修士論文指導補助など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または原則として採用日までに取得見込みであること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2027年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による。)
(3)勤務 専門業務型裁量労働制(みなし労働時間1日8時間)
(4)契約期間 期間の定めなし
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1*による。)
(2)研究業績書(本学所定の様式2*による。)研究業績は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3)主要論文3編(コピー可)とその要約
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1,000字程度)
(5)教育に対する抱負(1,000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
※*印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 2026年9月24日(木)必着
10. 選考方法 提出書類審査、学部選考委員会による面接(模擬授業を含む)
※面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
(1)提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也
TEL:0184-27-2000(本荘キャンパス代表)
郵送※1、電子メール応募※2、またはJREC-IN Portal Web応募
※1 封筒の表に「知能メカトロニクス学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
※2 タイトルを「知能メカトロニクス学科教員応募」とし、必要書類を添付してください。
送信先:hon-saiyo-syoku@akita-pu.ac.jp
応募書類は返却しません。
(2)問い合わせ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科長 小谷 光司
TEL:0184-27-2227(ダイヤルイン) E-mail:kotani@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像

知能メカトロニクス学科は、機械、電気電子、制御、情報通信分野を統合する重要な分野です。将来の分野の発展に鑑み、知能メカトロニクス学科では令和8年度に将来的な教育研究方針に照らし合わせて講座体制の見直しを行いました。知能メカトロニクス学科に広くに関連するいずれかの分野を専門とし、大学における教育・研究や地域貢献に意欲をもって率先して取り組み、将来的に学科の中核として活躍できる向上心のある適格な人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は以下の通りです。

[教育]

知能メカトロニクスを構成する学問分野である機械工学、電気電子工学、数学等の基礎科目及び実験・実習科目を中心に教育を行うことができる人材を求めます。

[研究]

最近の社会的要求により、少子高齢化問題、エネルギー問題等の課題解決やSDGs達成に向けて、広い学問分野を融合した複雑な知能化システムを取り扱う事が必須になっています。知能メカトロニクス学科に関連するいずれかの専門分野において、先端的研究に意欲を持って取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

秋田県の人口減少・超高齢化問題に対処していくためには、労働力・介護力の補填を目指した各種ロボット技術の研究推進と、工業・農林業・エネルギー・輸送機等の産業分野において新事業の創出と、既存の事業を含めて、その拡大・発展に携わる企業や人材の育成が必要です。それら地域が取り組む課題に対して何らかの形で貢献できる人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

機械工学と電気電子工学に関する広い専門知識を有し、これらの技術分野を統合して形成されるメカトロニクスシステムをシステム思考に基づいて設計・開発でき、日本・地域における産業の将来に貢献できる実践的な技術者を育成します。

知能メカトロニクス講座

● 先進ロボットシステム研究グループ

構造物の長期計測ロボットシステム

橋や建物などの構造物の強度を長期間にわたって計測し、構造物の安全性を見守るロボットシステムを開発します。

空気圧人工筋肉

空気で作動する軽量で柔らかい人工筋肉を開発し、人の動作アシストシステムへ応用します。

医療工学

細胞改変ロボットや生体計測技術を医工学分野に応用します。

フィールドロボット

雪や農業、鳥獣被害などにロボットやドローンで挑みます。

機械のスマート化

人工知能やセンシング技術、数値シミュレーション技術と機械を融合して、様々なスマート化技術を開発します。

● 電気エネルギー応用研究グループ

自然エネルギー

再生可能エネルギー利用のキーの一つとなるエネルギー貯蔵の応用研究を行います。エネルギー研究を支えるAI・量子を用いた支援技術も研究しています。

メカトロ制御システム

メカトロニクスやロボティクスへの応用を目指した高精度・高効率な制御方法やアクチュエータの開発をおこないます。

次世代無線通信応用技術

電子回路等で使われる全ての電線を無線化する技術を開発します。

高信頼ワイヤレスIoTシステム

ワイヤレスデバイスや高密度なユーザ環境でもいつでも・どこでも通信可能な技術を開発します。

● 先進エレクトロニクス研究グループ

環境エレクトロニクス

環境に溶け込む電子機器やロボットの機能を電子材料・デバイス・回路技術で支えます。

光からミリ波をカバーする電磁波の制御技術

高分子、ゲル、液晶、生体物質など柔らかい電子材料・デバイスの開発によって、次世代無線通信5G・6Gの社会実装に貢献します。

THz波によるセンシング技術

人体にやさしいTHz波で農業・工業・医療に革新的なセンシング技術を創出します。